

カンボジア 洪水対策に日本の技術を

土壌硬化剤を用いた、農道・灌漑施設整備の取組み

国際協力機構(JICA)は、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社SPEC(東京都杉並区、久保 祐一 代表取締役)が提案する「土壌硬化剤 STEIN 技術を活用した灌漑・農業施設造成整備等に関する案件化調査」(カンボジア)を採択しました。

カンボジアの主要な稲作地帯であるプレクト・ノット川流域などでは、溜池等の灌漑設備や農道整備が遅れている事で、農業の機械化や農民の市場へのアクセス等が阻害されています。また、雨季においては洪水等による被害や安定的な水資源の確保が困難な状況にあり、米の生産など農業の発展において大きな課題となっています。

株式会社SPECが製造する土壌硬化剤「STEIN」は、セメントを基材としており、土壌にSTEINを適度な水分と共に混合し、転圧することで土壌の硬化が得られ、国内でも灌漑河川床や農道等1,500か所以上で活用されています。今後は、カンボジアでの事業展開を検討しています。



決壊した灌漑と道路(カンボジア)

(例)水路兼農業道路(北海道、美瑛)

(例)洪水吐施設(茨城県、つくば)

本調査では、灌漑施設や農道などの造成による生活向上を目的とし、土質の検査など現地環境との適合性を検証する。それらの結果を基にODA事業での活用可能性や具体的な事業展開計画を策定する。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2015年度第2回分は昨年9月に公示を行いました。120件の応募のうち34件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)案件化調査2015年度第2回公示の採択結果について

URL: http://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/ku57pq00001moz9h-att/investigation_201502_result.pdf

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 国内事業部中小企業支援調査課 千葉(案件担当)、橋本(広報担当)

TEL 03-5226-3243 e-mail: pdtfs@jica.go.jp